

Kansai Economic Insight Monthly

2015/9/22

Vol.29 August/September

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ 本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各 APIR 研究員）です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

要 旨

- ✓ 7月の鉱工業生産指数は2カ月連続の上昇も、特殊要因に支えられた側面が強い。今後生産は緩やかな減少が予想される。
- ✓ 8月の貿易は、輸出が30カ月連続の前年比増加。輸入は6カ月ぶりの小幅増。結果、貿易収支は6カ月連続の黒字となった。今後は、中国8月のイベントの影響が出てくる可能性が高い。
- ✓ 8月の消費者態度指数は2カ月ぶりに改善した一方、景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月連続で悪化した。中国経済の減速による影響から、先行き見通しは大幅に低下している。
- ✓ 5月の関西2府4県の現金給与総額は3カ月ぶりのプラスとなったが、6月の「関西コア」賃金指数は3カ月連続のマイナス。賃金回復の動きはまだ見られない。
- ✓ 7月の大型小売店販売額は4カ月連続の前年比プラス。
- ✓ 7月の新設住宅着工戸数は小幅増加し、3カ月連続のプラス。持家、貸家が増加に貢献している。
- ✓ 7月の有効求人倍率と新規求人倍率はともに前月から上昇。失業率は4カ月連続の前月比悪化となった。生産も弱含んでおり、雇用の回復は力強さを欠く。
- ✓ 8月の公共工事請負金額は2カ月連続で2桁の前年比減。季節調整値も2カ月連続の同マイナス。今後、公共工事は減少トレンドに転じる可能性がある。
- ✓ 中国の8月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、6カ月ぶりに景気判断の分かれ目である50を下回った。PMIは景気転換の「先行指標」であることから、中国経済の景気の下振れは無視できない。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	9
中国景気モニター	9
主要月次統計	12
Release Calendar	13

【関西経済のトレンド】

	2014年					2015年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↑	↑	
貿易	→	→	↑	→	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑
センチメント	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	→	↓	↑	↓	↓
消費	↑	↑	↑	↑	↑	→	↑	↓	↑	↑	→	↑	
住宅	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	→	↓	↑	↑	→	
雇用	→	→	↑	↑	↑	→	→	→	↑	↑	→	↑	
公共工事	→	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↓
中国	↓	↑	→	↓	↓	↓	→	↓	↓	→	→	→	↓

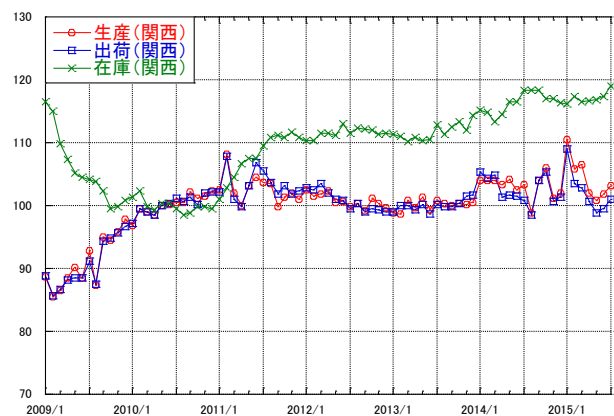
【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

7月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は103.2で前月比+0.6%、出荷は101.0で同+1.0%といずれも2カ月連続の上昇、在庫は119.1で同+1.3%と4カ月連続の上昇となった。

業種別に生産指数をみると、金属製品(同+26.7%, 3カ月ぶり)、化学(除. 医薬品)(同+7.5%, 4カ月連続)、電子部品・デバイス(同+4.2%, 3カ月ぶり)等が増産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同-3.5%, 2カ月ぶり)、電気機械(同-2.6%, 2カ月連続)、その他(同-5.5%, 2カ月ぶり)等が下落した。

鉱工業指数の推移(関西：2015年7月まで、平成22年=100)

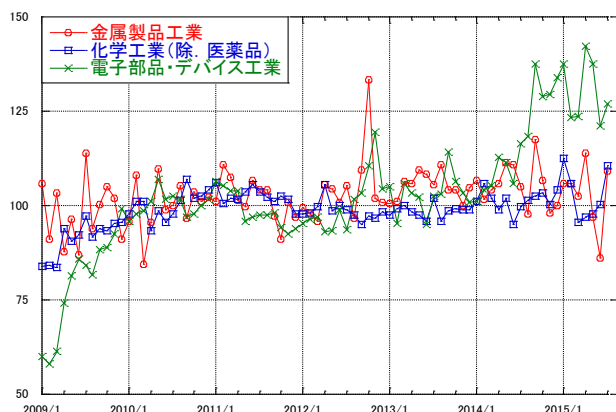


(注) 福井県を含む。

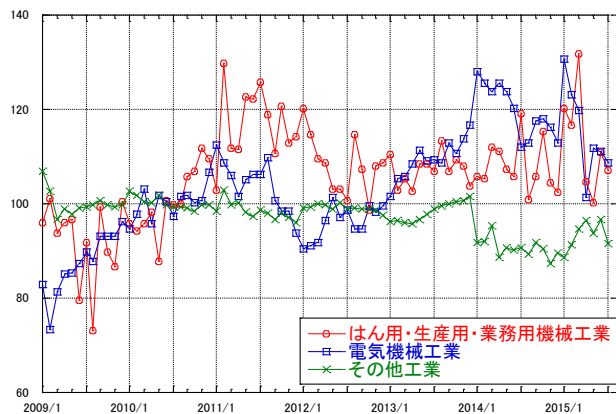
(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

前月号で関西 7 月の実質輸出が下落していることから、同月の生産指数は低下すると予想したが、結果は上昇となった。これは、橋りょうを主として金属製品(寄与度+1.5%)の伸びが非常に強かったためである。同生産指数が仮に前月比横ばいだったとすれば、関西の生産指数はマイナスであった。8 月以降の中国経済の動向を考慮すれば、今後の生産は減少が予想される。在庫も増加しており、7 月の内容は良くない。

業種別生産指数の推移(関西：2015 年 7 月まで、平成 22 年=100)



業種別生産指数の推移 (続き)



(注) 福井県を含む。

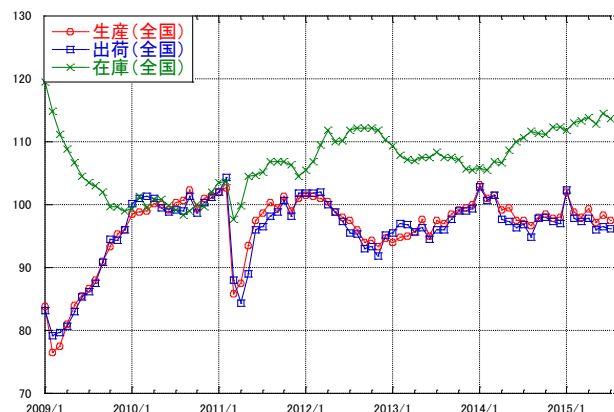
(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国生産動向

全国における7月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は97.5 となり前月比-0.8%、出荷は96.2 で同-0.4%、在庫は113.7 で同-0.8%といずれも2 カ月ぶりの下落となった。なお、製造工業生産予測調査で8 月は増産(同+2.8%)、9 月は減産(同-1.7%)となっているが、8 月の中国経済を巡るイベントの影響が予測には反映されていないことに注意。

業種別にみると、電子部品・デバイス(同-3.8%)、輸送機械(同-1.4%)、情報通信機械(同-8.3%)等を中心に減産となった。一方、化学(同+2.5%)、金属製品(同+3.1%)、石油・石炭製品(同+2.7%)等は増産となった。

鉱工業指数の推移(全国：2015 年 7 月まで、平成 22 年=100)



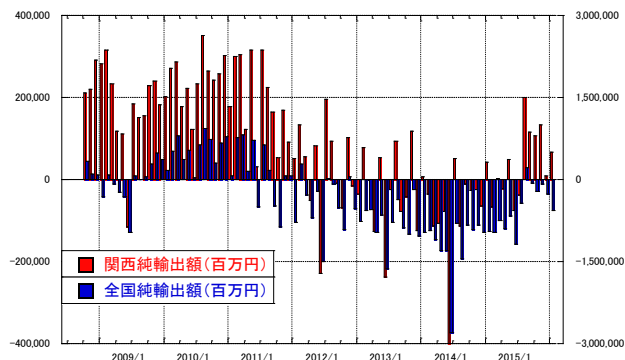
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、8 月関西の貿易収支は+662 億円と6 カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月から+52.0%増加した。全国の貿易収支(速報値)は-5,697 億円と5 カ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月から-40.2%縮小した。全国では、貿易収支が黒字であった3 月を除いて、2015 年は赤字幅の大幅減が続いている。

貿易収支(百万円)：関西(左軸)・全国(右軸)推移(2015年8月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

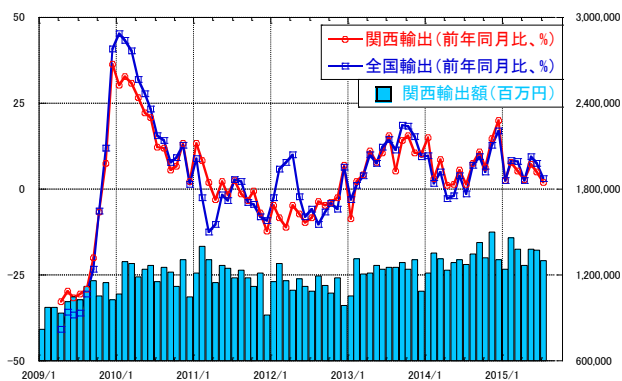
(2) 輸出

関西 8 月の輸出額(速報値)は 1 兆 2,994 億円。前年同月比+2.0%と 30 カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、通信機(単月過去最高額)、自動車であった。一方、有機化合物、原動機は減少となった。

全国 8 月の輸出額(速報値)は 5 兆 8,815 億円となり、前年同月比+3.1%と 12 カ月連続の増加。財別に見れば、先月に引き続き、自動車、船舶、半導体等電子部品等の輸出が増加した。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は 124.16 円と前年同月比 21.5%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年8月まで)



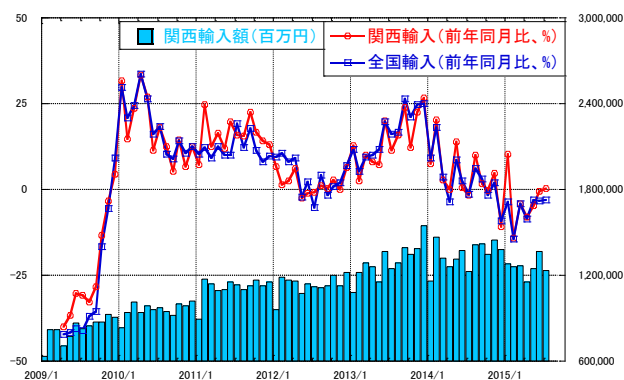
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西 8 月の輸入額(速報値)は 1 兆 2,332 億円、伸びは前年同月比+0.3%と 6 カ月ぶりの増加も、伸びは小幅にとどまった。財別に見れば、通信機(単月過去最高額)、衣類及び同付属品等が増加した。一方で、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスは減少となった。ちなみに、原油及び粗油は、価格の下落もあり同-26.6%のマイナスと大幅減が続いている。

全国 8 月の輸入額(速報値)は 6 兆 4,511 億円、前年同月比-3.1%と 8 カ月連続の減少。財別に見れば、原粗油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少した。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年8月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西 8 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,624 億円となり、19 カ月連続の黒字であったが、黒字幅は前年同月比-24.6%となり 2 カ月連続で縮小した。輸出は 12 カ月連続で増加(同+2.6%)。財別に見れば、通信機、半導体等電子部品等が増加した。輸入は 3 カ月連続のプラス(同+11.6%)。財別に見ると、通信機、衣類及び同付属品等が増加した。

うち、対中貿易収支は-895 億円と 42 カ月連続の赤字。赤字幅は 2 カ月連続で前年同月から大幅拡大した(同+188.1%)。輸出は 2 カ月連続の減少(同-4.8%)。一方、輸入は 4 カ月連続の増加(同+12.0%)となった。足下の円安に

も関わらず、中国経済の減速から対中輸出が減少した結果、貿易収支は悪化した。8月は天津の爆発事故、人民元の切り下げ、上海総合指数の暴落等が発生した。今後、対中国貿易の動向は輸出の伸びに下方圧力がかかる等、楽観を許さない。

対米貿易収支は+690億円と黒字基調が続いており、黒字幅は12カ月連続で前年から拡大した(同+12.7%)。うち、輸出は15カ月連続の増加(同+8.6%)。財別に見れば、金属加工機械、電気計測機器等が増加した。輸入は2カ月ぶりの増加(同+5.8%)であり、財別に見れば、半導体等製造装置、無機化合物等が増加した。

対EU貿易収支は-61億円と3カ月連続の赤字となり、貿易収支は前年同月から88億円悪化した。うち、輸出は11カ月ぶりに減少(同-0.1%)した。財別に見れば、原動機、鉱物性燃料等が減少した。輸入は2カ月連続の増加(同+7.0%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、有機化合物等が増加した。

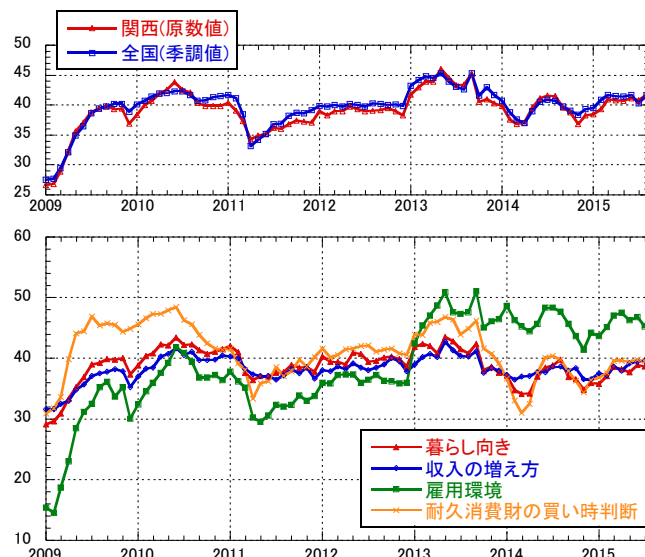
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の8月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.9ポイントの41.7と、2カ月ぶりに改善した。全国(季節調整値)でも同+1.4ポイントの41.7とこちらも2カ月ぶりの改善。ガソリン価格の低下などが消費者心理を支えた。ただし、8月調査の調査基準日は8月15日であり、8月下旬からの株価下落の影響は含まれていないことに注意を要する。

関西で同指数の構成項目をみると、8月は4つの意識指標のうち全てが前月から改善した。「暮らし向き」が同+1.7ポイント上昇、「耐久消費財の買い時判断」は同+1.6ポイント上昇、「雇用環境」は同+0.3ポイント上昇し、いずれも2カ月ぶりの改善。「収入の増え方」は同+0.1ポイントと4カ月連続で上昇した。

消費者態度指数(2015年8月まで)

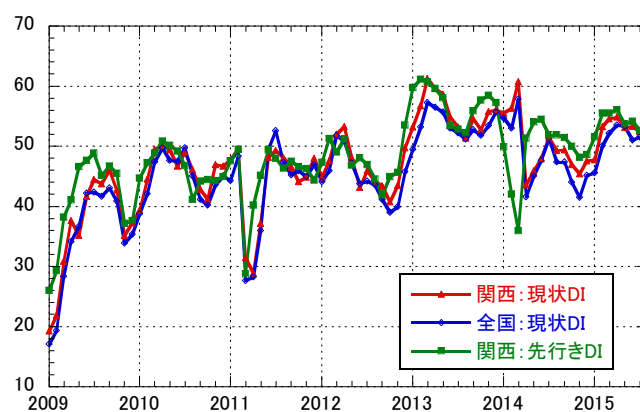


(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の8月の現状判断DIは前月比-1.0ポイント低下の51.4となり、2カ月連続の悪化。盆明け以降の消費の減少や株価の下落によるマインドの悪化などが寄与したとみられる。なお、調査時点は8月の25日から月末にかけてである。全国は同-2.3ポイント低下し49.3となり、こちらも2カ月ぶりの悪化。

景気ウォッチャー調査(2015年8月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

先行き判断DIは、関西では47.3と前月比-5.3ポイントと大幅に低下した。低下は2カ月連続。中国経済の減速を受けて、製造業を中心に輸出面で大きな影響が懸念されている。

加えて、百貨店やホテルからは、株価下落によるインバウンド消費の鈍化を心配する声が上がっている。これらの要因が、先行き見通しの大幅な悪化につながったとみられる。

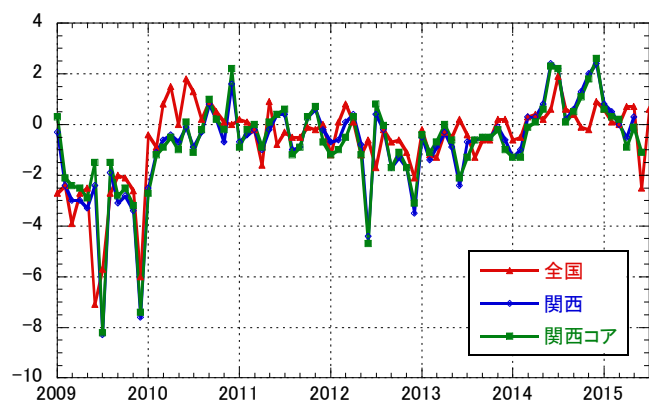
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

5月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は24万8,543円で前年同月比+0.3%と3カ月ぶりのプラスとなった(前月：同-0.5%)。府県別では、奈良県が同+6.1%(4カ月連続)と、最も伸びが大きかった。次いで和歌山県が+5.9%(12カ月連続)、京都府が同+0.8%(3カ月ぶり)、大阪府が同+0.2%(9カ月連続)、それぞれ上昇した。一方、滋賀県は同-1.0%(2カ月ぶり)、兵庫県は同-1.2%(4カ月連続)のマイナスとなった。

京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は6月に前年同月比-1.1%となり、3カ月連続のマイナス。賃金回復の動きはまだ見られない。

現金給与総額(前年同月比：％、2015年7月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

全国(速報値)の現金給与総額をみると、7月は前年同月比+0.6%と2カ月ぶりのプラス。内訳をみると、所定内給与は同+0.6%と前月(同+0.4%)から若干加速(5カ月連続の

プラス)。所定外給与は同+0.6%と5カ月ぶりのプラス(前月：同-0.2%)。特別給与は同+0.3%と2カ月ぶりのプラス(前月：同-6.7%)。夏のボーナスの支給時期の後ずれから、7月分は大幅な増加が期待されていたが、結果は微増にとどまった。

現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.3%と前月からプラスに転じたが(前月：同-3.0%)、確報値では下方修正される可能性が高い。

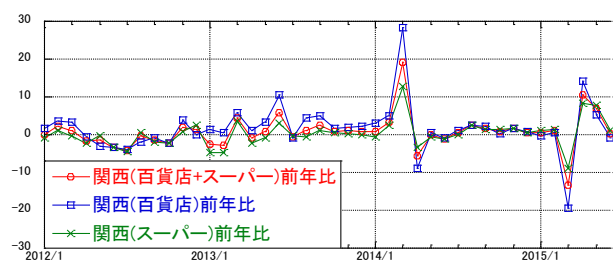
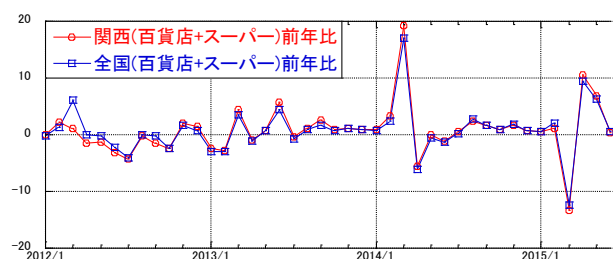
(2) 大型小売店販売額

関西7月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+3.0%と4カ月連続のプラス。百貨店は同+2.7%と2カ月ぶりのプラス。スーパーは同+3.1%と4カ月連続のプラス。

全国7月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+3.2%と4カ月連続のプラスとなっている。

なお、今月から調査対象事業所の見直しを行ったため、近畿の合計、スーパー、および全国の合計の伸びは前年の販売額にリンク係数を乗じた上で算出されていることに注意。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2015年7月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

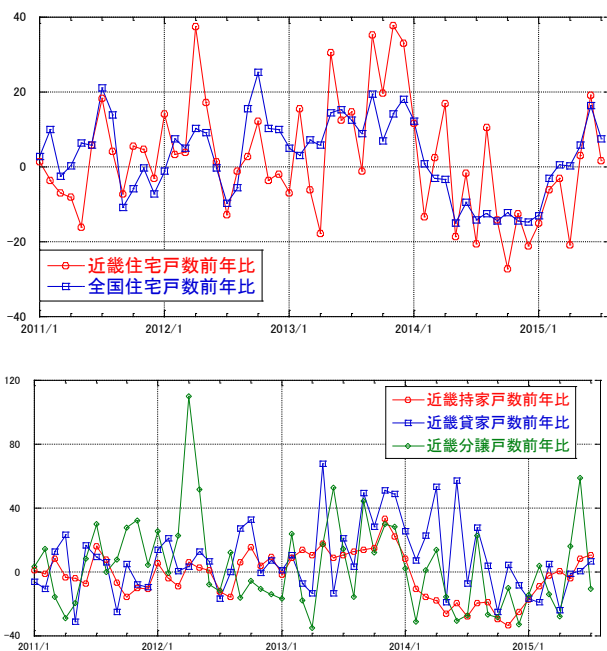
(3) 新設住宅着工の動向

関西7月の新設住宅着工戸数は10,210戸。前年同月比+1.7%と3カ月連続の増加。全国は78,263戸と同+7.4%増加し、5カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,950戸。同+10.6%と2カ月連続の増加。貸家は4,163戸、同+6.5%と2カ月連続のプラス。分譲は3,070戸、同-10.7%減少し、3カ月ぶりのマイナス。

8月の関西マンション契約率は79.5%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を6カ月連続で上回っている。首都圏は76.6%(季節調整値、APIR推計)となった。足下、関西の住宅着工の伸びは小幅にとどまった。

新設住宅着工(前年同月比：％、2015年7月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

7月の関西の有効求人倍率(季節調整値)は、1.11倍で前月比+0.01ポイント上昇。2カ月連続の横ばいの後、小幅上昇。

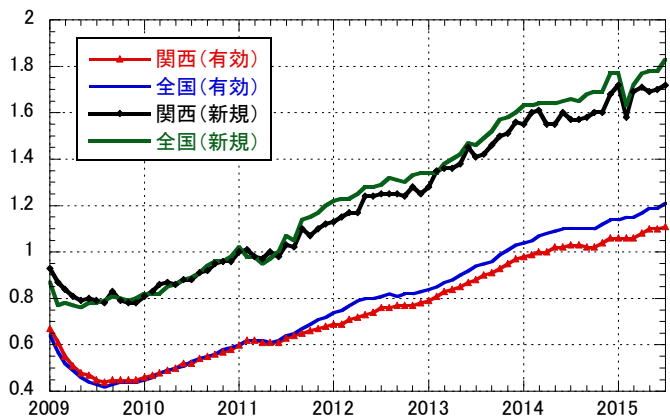
全国は1.21倍で同+0.02ポイント上昇し、3カ月ぶりの上昇。1992年2月(1.22倍)以来の高水準となった。

府県別では、京都府と兵庫県では前月比+0.02ポイント上昇、大阪府と奈良県で同+0.01ポイント上昇。一方、滋賀県と和歌山県では同-0.01ポイント低下した。

7月の関西の新規求人倍率(季節調整値)は、1.72倍と前月比+0.02ポイント上昇し、2カ月連続の改善。全国は1.83倍と同+0.05ポイント上昇し、前月の同横ばいから改善した。

関西の産業別新規求人数(原数値ベース)は、宿泊・飲食サービス業で前年同月比+24.8%と大幅に伸びた。その他は生活関連サービス業、医療・福祉、卸・小売業、製造業で増加した。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2015年7月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2015年7月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
7月	1.21	1.11	1.05	1.15	1.20	0.98	1.03	1.03
6月	1.19	1.10	1.06	1.13	1.19	0.96	1.02	1.04

(2) 完全失業率の推移

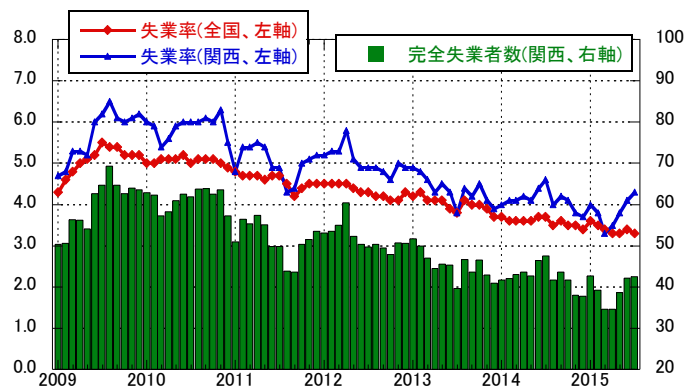
7月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR推計)は4.3%で前月から0.2%ポイント上昇し、4カ月連続の悪化。非労働力人口(季節調整値)の増加と就業者数の減少による。生産も弱含んでおり、雇用の回復は力強さを欠く。

関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は42.5万人で前月(42.2万人)から0.3万人小幅増加した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.3%と前月から0.1%ポイント低下した。求職理由別にみると、勤め先や事業先の都合による「非自発的な離職」が減少している。全国の雇用環境は改善が続いている。

15～64歳の就業率(原数値、全国ベース)をみると、73.3%となり、前年同月比+0.7%ポイント上昇。昨年の後半から高水準が続いている。

完全失業率の推移(季節調整値：％、万人、2015年7月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

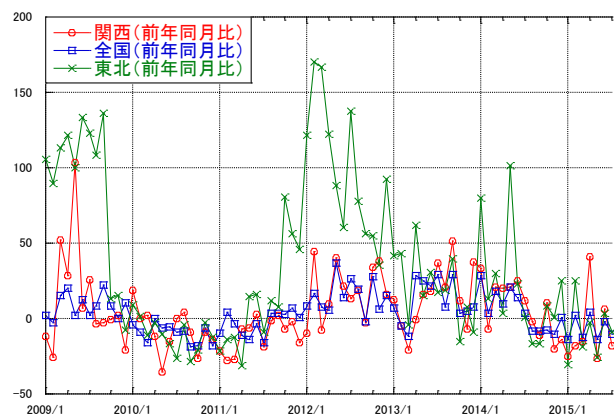
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西8月の公共工事請負金額は1,032億円で前年同月比-11.6%と2カ月連続で2桁のマイナスとなった。全国は1兆1,132億円で同-1.3%と4カ月連続のマイナス。東北は2,134億円で同-0.7%と2カ月連続のマイナスとなった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に2カ月連続で前月から減少となった(関西：同-6.1%、全国：同-6.4%)。公共工事請負金額は停滞しており、今後、本格的に減少トレンドに転じる可能性がある。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2015年8月まで)

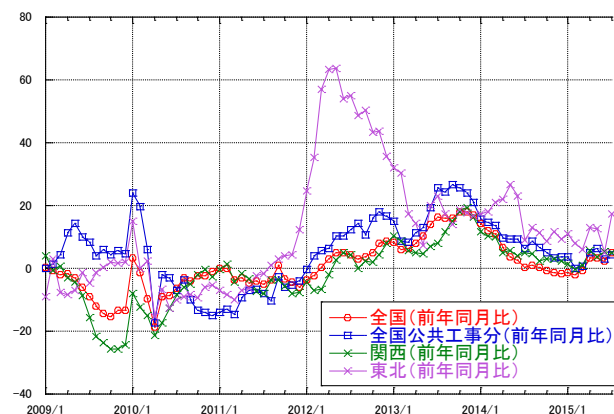


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西7月の建設工事は5,003億円、前年同月比+5.2%と5カ月連続の増加となった。東北は5,551億円、同+17.3%と48カ月連続の増加。全国は3兆9,345億円となり、同+5.2%と4カ月連続の増加。うち、全国の公共工事は1兆5,508億円で同+4.4%と42カ月連続の増加も、伸びは16カ月連続で1桁にとどまった。足下、公共工事はプラスの伸びを維持しているが、公共工事請負金額は減少している。先行き公共工事は減少トレンドを避けられない。

建設工事(前年同月比：％、2015年7月まで)



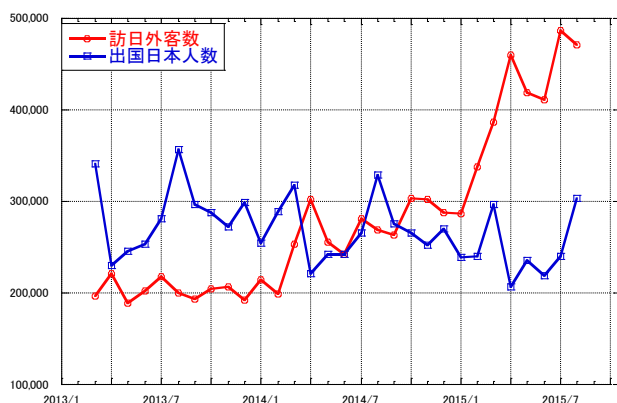
(出所) 国土交通省「建設総統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

8月の関空への訪日外客数は、7月の歴史的な水準からは若干減少した。訪日外客数は47万1,430人、前年同月比+75.1%と31カ月連続の前年比プラスとなった。一方、出国日本人数は30万3,380人(同-7.7%)と20カ月連続の減少となった。外国人旅客総合数(出国・入国含め)は97万9,120人(同+75.0%)と、歴史的な水準となった。

訪日外客数と出国日本人数(2015年8月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

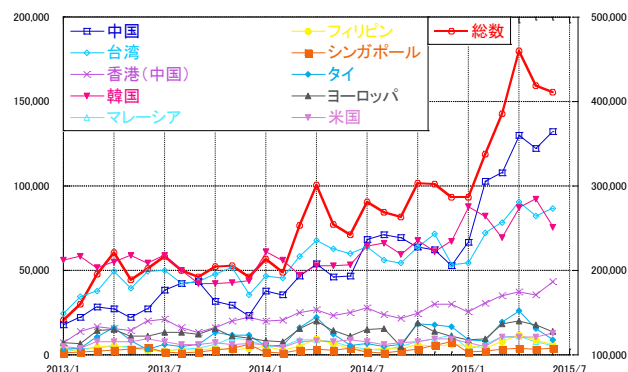
(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、6月は中国(香港を除く)からの入国者数が13万2,308人(前年同月比+182.8%)と最も多かった。次いで、台湾が8万6,990人(同+45.1%)、韓国が7万5,817人(同+41.5%)、中国(香港)が4万3,554人(同+72.4%)となった。香港からの訪日外客数は歴史的な水準となった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイから8,777人(同+54.4%)。フィリピンからは6,103人(同+52.6%)、マレーシアからは5,525人(同+10.3%)、シンガポールからは3,964人(同+0.1%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパからは1万3,967人(同+26.4%)と9カ月連続のプラス、米国からは1万2,713人(同+43.9%)と10カ月連続のプラスであった。

地域別訪日外客数(2015年6月まで：人、右軸：総数、左軸：各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

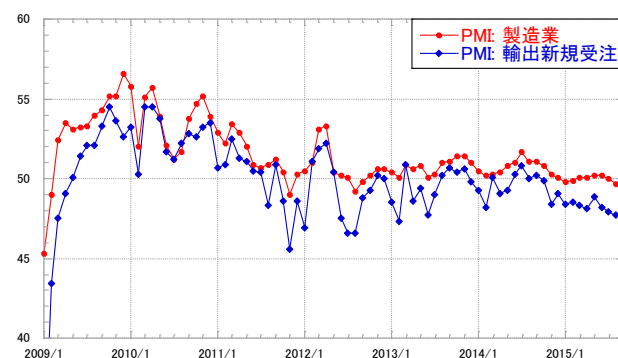
【中国景気モニター】

(1) センチメント

8月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月比-0.3ポイント低下し49.7となった。6カ月ぶりに景気判断の分かれ目である50を下回った。

うち、生産指数は同-0.7ポイント低下し51.7となった。2カ月連続のマイナス。新規受注指数は同-0.2ポイント低下の49.7となり、3カ月連続のマイナス。また、輸出新規受注指数は47.7となり、同-0.2ポイント下落した。11カ月連続で50を下回った。雇用指数は47.9となり、同-0.1ポイント低下した。PMIは景気転換の「先行指標」であることから、中国経済の景気の下振れは無視できない。

中国製造業購買担当者景況指数(2015年8月まで：%)



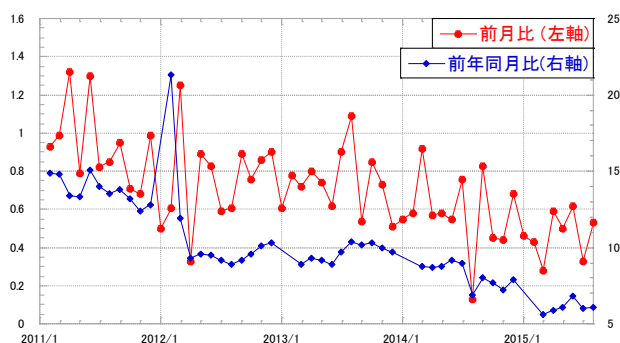
(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

(2) 工業生産

8月の工業生産は前月比+0.53%となり、前月から+0.2%ポイント上昇した。前年同月比は+6.1%となり、伸びは前月から+0.1%ポイント上昇したが、昨年通年の伸び率(+8.22%)を下回る状況が続いている。

産業別に見ると、有色金属延加工業(同+11.7%)、パソコン・通信及びその他電子設備製造業(同+11.1%)、医薬製造業(同+10.3%)、化学原料・製品製造業(同+10.3%)、ゴム・プラスチック製品製造業(同+9.9%)等が高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+3.8%)、電力・熱力生産・供給業(同+1.5%)、自動車製造業(同+0.2%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2015年8月まで：%)



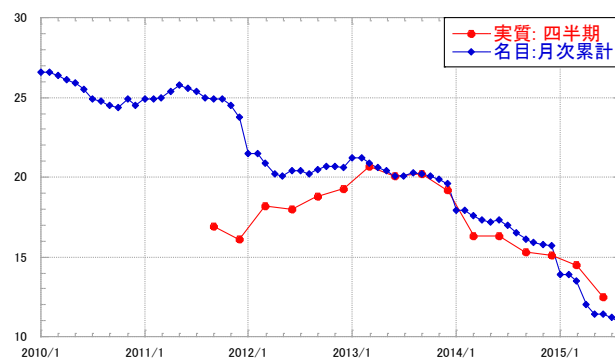
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

1-8月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+10.9%、伸びは2カ月連続の低下となった(1-7月期:+11.2%)。2014年後半以降急激な減速が続き、2000年12月(+9.7%)以来の低水準となった。

産業別にみれば、第1次産業は同+28.5%(1-7月期:+28.2%)、2カ月連続で加速した。一方、第2次産業は同+8.5%(1-7月期:+9.0%)となったが、6カ月連続の減速。第3次産業も同+11.9%(1-7月期:+12.1%)となったが、2カ月連続の減速である。

固定資産投資 (2015年8月まで：%) (累積伸び率)

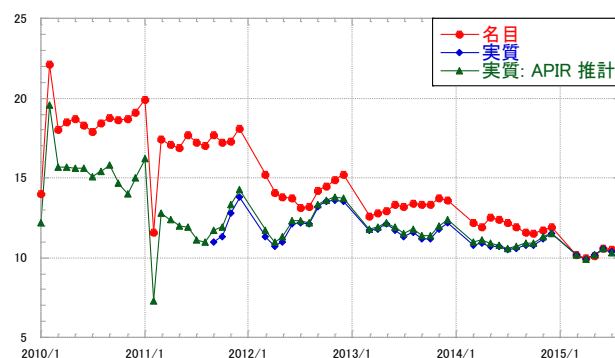


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

8月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.8%と前月(同+10.5%)より+0.3%ポイント小幅上昇したものの、昨年通年の伸び(同+12.0%)を依然下回っている。

社会消費品小売総額 (2015年8月まで：%)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

8月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-5.6%と2カ月連続のマイナス。輸入額は同-13.9%(速報値)と内需の低迷を反映し10カ月連続のマイナス。減少幅は前月(同-8.2%)より拡大した。

うち、日本への輸出額は同-5.9%と6カ月連続のマイナス。
日本からの輸入額は同-14.2%と10カ月連続のマイナスと
なった。

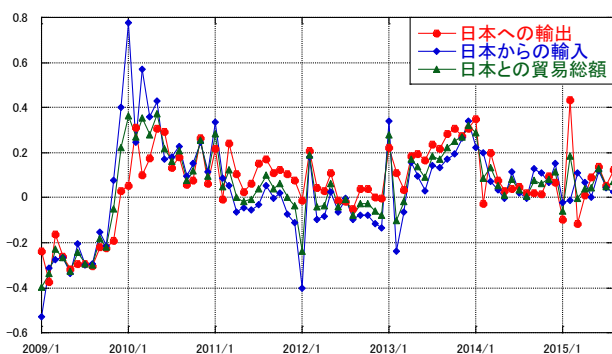
円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+12.6%とな
り、5カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+2.7%と6
カ月連続の増加だが、前月(同+4.6%)から伸びは縮小した。

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

日本との貿易 (前年同月比 : 円ベース) (2015年8月まで : %)

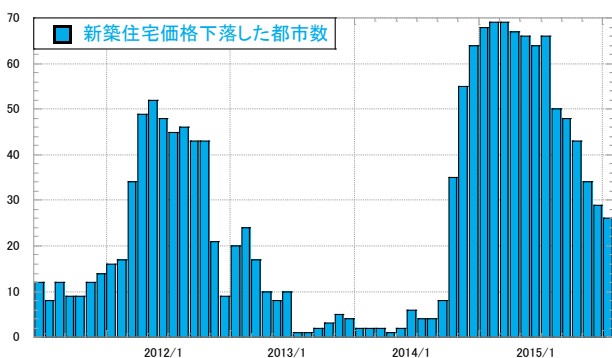


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(6) 不動産市場

不動産価格（新築住宅価格）を見ると、中国主要 70 都市
のうち、8月には26都市で下落した。前月に比べ35都市で上
昇、9都市で横ばいとなった。下落した都市の数は6カ月連
続の減少となった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年8月まで : 都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

【主要月次統計】

月次統計	14/8M	14/9M	14/10M	14/11M	14/12M	15/1M	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	49.9	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	45.8	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.5	39.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7
[関西]〃暮らし向き(原数値)	39.8	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4
[関西]〃収入の増え方(原数値)	38.7	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7
[関西]〃雇用環境(原数値)	47.7	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.8	37.9	36.3	34.4	36.4	36.6	37.6	39.6	39.6	39.4	39.8	39.5	41.1
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	40.7	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7
[関西]大型小売店販売額(10億円)	311.0	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	327.0	310.8	324.8	315.4	337.8	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	2.4	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	-13.4	10.5	6.9	0.4	3.0	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,626.3	1,531.3	1,606.5	1,728.6	2,155.4	1,722.7	1,498.6	1,715.0	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	2.8	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	-12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12,764.0	11,707.0	10,816.0	12,192.0	11,625.0	9,605.0	9,002.0	10,832.0	9,823.0	10,416.0	14,330.0	10,210.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	10.6	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	-3.0	-20.9	3.2	19.2	1.7	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	73,771.0	75,882.0	79,171.0	78,364.0	76,416.0	67,713.0	67,552.0	69,887.0	75,617.0	71,720.0	88,118.0	78,263.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	-12.5	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	71.8	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	70.4	73.6	70.5	71.8	71.7	79.5
[関西]マンション契約率(原数値)	71.7	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	72.7	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4
[全国]マンション契約率(季節調整値)	71.9	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	75.2	74.5	72.1	75.4	73.6	76.6
[全国]マンション契約率(原数値)	69.6	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	79.6	75.5	71.1	78.7	83.7	74.3
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	116.7	148.5	150.4	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-2.0	-11.3	10.8	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,127.6	1,398.4	1,316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-8.1	-8.2	-7.4	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3
[関西]建設工事(総合、10億円)	506.1	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	573.7	467.9	494.5	487.0	500.3	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	4.8	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	1.0	5.8	3.8	5.4	5.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,030.9	4,333.2	4,522.6	4,714.6	4,834.6	4,611.0	4,510.3	4,520.2	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	1.2	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	-0.7	3.4	3.3	2.5	5.2	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1,703.7	1,933.3	2,098.8	2,247.4	2,344.3	2,188.1	2,127.4	2,140.9	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	8.7	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	0.8	4.9	6.4	3.1	4.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.9	104.1	106.0	101.2	102.1	110.5	105.9	106.5	102.1	100.9	102.6	103.2	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-4.4	5.3	1.8	-4.5	0.9	8.2	-4.2	0.6	-4.1	-1.2	1.7	0.6	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比)	-3.7	6.6	5.2	-4.0	0.7	1.8	-0.7	0.3	-0.6	-5.1	-0.4	0.1	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比)	6.8	5.6	3.3	4.5	1.5	0.8	2.2	2.8	1.9	0.1	0.7	0.6	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	99.2	106.5	105.3	100.7	101.3	109.0	103.6	102.9	100.7	98.8	100.0	101.0	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.4	7.4	1.3	-4.4	0.6	7.6	-5.0	-0.7	-2.1	-1.9	1.2	1.0	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	119.8	120.0	117.0	117.1	116.4	116.2	117.4	116.5	116.7	116.9	117.6	119.1	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.5	0.2	-1.2	0.1	-0.6	-0.2	1.0	-0.8	0.2	0.2	0.6	1.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	96.7	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	98.1	99.3	97.2	98.3	97.5	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.8	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	-0.8	1.2	-2.1	1.1	-0.8	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比)	-4.1	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	-2.3	0.2	-3.2	1.8	-0.4	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比)	4.7	4.1	3.9	6.6	6.2	5.6	7.0	6.2	6.6	3.9	4.0	-0.8	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	94.9	97.9	98.0	97.3	97.1	102.4	97.9	97.3	97.9	96.0	96.6	96.2	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.1	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	-0.6	0.6	-1.9	0.6	-0.4	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.7	111.3	111.2	112.4	112.3	111.8	113.0	113.4	113.8	112.9	114.6	113.7	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	0.9	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	0.4	0.4	-0.8	1.5	-0.8	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.2	0.6	1.3	2.0	2.4	0.8	0.5	0.0	-0.5	0.3	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.1	0.5	1.1	1.8	2.6	0.6	0.3	0.2	-0.9	-0.1	UN	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.6	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	0.0	0.7	0.7	-2.5	0.6	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.0	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.3	3.5	3.8	4.1	4.3	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.0	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	3.6	3.5	3.7	3.9	4.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.57	1.58	1.60	1.60	1.68	1.72	1.58	1.69	1.71	1.69	1.70	1.72	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.65	1.68	1.69	1.69	1.77	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.03	1.02	1.02	1.04	1.06	1.06	1.06	1.06	1.08	1.10	1.10	1.11	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	43.5	-67.2	2.3	-22.2	50.2	-76.0	-37.6	201.1	114.9	108.8	134.0	9.2	66.2
[関西]輸出(10億円)	1,273.6	1,348.5	1,425.2	1,322.6	1,500.7	1,304.8	1,242.4	1,459.2	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4
[関西]輸出(前年同月比)	1.3	7.5	10.9	6.5	14.7	20.0	2.5	7.9	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0
[関西]輸入(10億円)	1,230.1	1,415.7	1,422.8	1,344.8	1,450.5	1,380.8	1,280.0	1,258.1	1,267.8	1,155.5	1,249.4	1,365.4	1,233.2
[関西]輸入(前年同月比)	-1.6	9.9	1.8	-0.3	4.7	-10.9	10.2	-14.1	-4.2	-8.2	-4.8	-0.6	0.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
31-Aug	1-Sep 中国製造業 PMI (8月)	2-Sep	3-Sep	4-Sep 毎月勤労統計 (7月:速報値)
7-Sep	8-Sep 景気ウォッチャー調査 (8月) 中国輸出入 (8月:速報値)	9-Sep 消費動向調査 (8月) 近畿鉱工業生産指数 (7月:速報)	10-Sep 近畿貿易統計 (6月:確報) 近畿貿易統計 (7月:確速)	11-Sep
14-Sep 全国鉱工業生産指数 (7月:確報値) 商業動態調査 (7月:確報値) 中国工業生産 (8月) 中国固定資産投資 (8月) 中国消費小売総額 (8月) マンション契約率 (8月)	15-Sep 公共工事前払保証額 統計(8月)	16-Sep	17-Sep 建設総合統計 (7月) 全国貿易統計 (8月:速報) 近畿貿易統計 (8月:速報)	18-Sep
21-Sep	22-Sep	23-Sep	24-Sep	25-Sep 近畿鉱工業生産指数 (6月:確報値) 毎月勤労統計 (7月:確報値)
28-Sep	29-Sep 全国貿易統計 (8月:確速)	30-Sep 新設住宅着工 (8月) 全国鉱工業生産指数 (8月:速報値) 商業動態調査 (8月:速報値)	1-Oct	2-Oct 求人倍率 (8月) 完全失業率 (8月)